

2021年10月14日

株式会社三菱UFJ銀行

## 北九州市が発行するサステナビリティボンドへの投資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下 当行）は、本日、北九州市が発行する「第1回北九州市サステナビリティボンド10年公募公債（北九州市SDGs未来債）」（以下 本債券）への投資を決定いたしました。

本債券は、環境事業および社会的課題の解決に資する事業に要する資金を調達するために発行する債券です。本債券の発行により調達された資金は、洋上風力発電関連事業、豪雨災害から市民を守るための防災対策事業、災害廃棄物処理への対応、自然環境の保全、公共施設の更新・改修、子育て・教育環境の整備等の事業に充当され、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも貢献します。

なお、本債券は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、セカンド・パーティ・オピニオンを取得し、国際資本市場協会（International Capital Market Association/ICMA）が定義する「ソーシャルボンド原則 2021<sup>[1]</sup>」、「サステナビリティボンド・ガイドライン 2021<sup>[2]</sup>」、「グリーンボンド原則 2021<sup>[3]</sup>」および対象事業のグリーン性に関して環境省が定義する「グリーンボンドガイドライン 2020年度版<sup>[4]</sup>」に適合していると認められています。

当行は、本債券への投資を通じ、今後も環境および社会の課題解決につながる事業やSDGsの達成に貢献する事業の促進を図ると同時に、責任ある機関投資家としての責務を果たし、持続可能な社会の形成への貢献をより一層進めてまいります。

### 【本債券の概要】

銘柄	第1回北九州市サステナビリティボンド10年公募公債（北九州市SDGs未来債）
年限	10年
発行額	100億円
発行日	2021年10月28日

<sup>[1]</sup>国際資本市場協会（ICMA）が定義する「ソーシャルボンド原則 2021」（英文）は以下をご参照ください。

<https://www.icmagroup.org/sustainable-finance/the-principles-guidelines-and-handbooks/social-bond-principles-sbp/>

<sup>[2]</sup>国際資本市場協会（ICMA）が定義する「サステナビリティボンド・ガイドライン 2021」（英文）は以下をご参照ください。

<https://www.icmagroup.org/sustainable-finance/the-principles-guidelines-and-handbooks/sustainability-bond-guidelines-sbg/>

<sup>[3]</sup>国際資本市場協会（ICMA）が定義する「グリーンボンド原則 2021」（英文）は以下をご参照ください。

<https://www.icmagroup.org/green-social-and-sustainability-bonds/green-bond-principles-gbp/>

<sup>[4]</sup>環境省が定義する「グリーンボンドガイドライン 2020年度版」は以下をご参照ください。

<https://www.env.go.jp/press/107803.html>

以上